

○ こめ油の製造を行う三和油脂株式会社は、製造副産物である脱脂米ぬかや有機汚泥を堆肥化し、ペレット肥料を製造。ホームセンター等の販売網を通じて広域流通を図る。

国内資源の種類 **肥料の種類・肥料名称**

- ・脱脂米ぬか（100%） 種類：米ぬか油かす及びその粉末
 名称：脱脂米ぬかペレット
- ・排水処理汚泥（45%） 種類：菌体肥料
- ・脱脂米ぬか（55%） 名称：なごみ

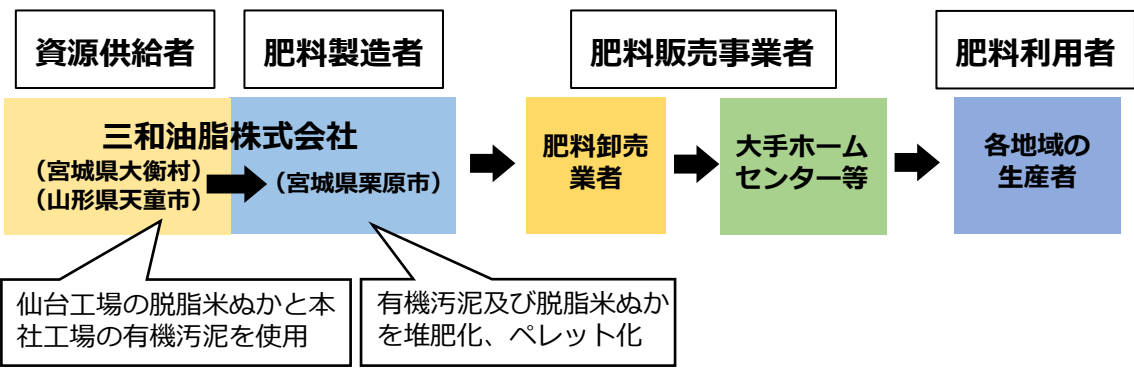
作物 **主成分の含有量（%）・特徴等**

・白菜 ・小松菜 ・ほうれん草等	脱脂米ぬか	N	P	K
	ペレット	3.0%	6.0%	2.0%
	なごみ	N	P	K
		3.0%	7.0%	2.4%

取組の経緯・内容・成果（見込み）

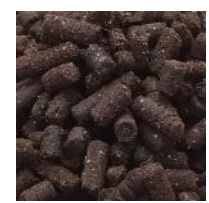
- 取組の経緯**
- ・自社で製造するこめ油の製造副産物である有機汚泥や脱脂米ぬかには、りん酸が4～7%と多く含まれていることが分かっており、副産物の再利用について研究開発を進めてきたが、排水処理の際に発生する有機汚泥の再利用が特に困難であり、これまでは産業廃棄物処理事業者に処理を委託していた。
 - ・産業廃棄物となっている有機汚泥の活用と、国産の米由来成分（脱脂米ぬか）を農地還元することで新たな付加価値を高めることを目的として、ペレット肥料の事業化を目指す。
- 取組の内容**
- ・堆肥化、ペレット化製造施設を整備し、宮城県及び山形県の自社工場から排出される有機汚泥及び脱脂米ぬかの堆肥化からペレット肥料の製造までを行う。
 - ・宮城県の協力企業の販売チャネルを活用し、ホームセンター等での広域流通を図る。
- 成果（見込み）**
- ・副産物や処分費用の掛かる廃棄物を有効活用し、循環型社会を目指す。
 - ・新たに整備した肥料製造施設により、1,200t/年の肥料製造を見込んでいる。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



今後の課題・取組

- ・主要な肥料利用者である農家のほか、JA等の販売事業者への更なる周知
- ・需要期に合わせた安定した供給体制の確立
- ・広域流通による供給量の一層の拡大



製品画像



散布時の画像



実証ほ場の画像